

浅間台

松戸市立第二中学校

令和4年度 4月号

< 「それを夢みることができるなら、君はそれを実現できる」 >

校長 佐野 公雄

本日4月8日、第76回入学式に189名の新入生を迎え、全校生徒520名、特別支援学級を含む15学級で、令和4年度がスタートいたしました。今年度も、私ども教職員は丁寧・誠実を旨として学校教育に取り組み、第二中学校のさらなる発展のため、努力をつづけていく所存でございます。



さて、新年度のスタートにあたり入学式の間を借りて、私自身が心にとどめている次の「ことば」を新入生に贈りました。

「それを夢みることができるなら、君はそれを実現できる」

これは、ディズニーランドの創設者ウォルト・ディズニーが残した言葉です。「夢を持たなければ、夢を実現することはできない。夢を持つことができれば、その夢を実現する可能性は、すでにあるのだ」というメッセージが込められています。将来への大きな夢や日常の些細な夢まで、夢には様々ありますが、人は夢や目標を持つことで、日々の困難や苦悩を乗り越え、人生を有意義で豊かに過ごすことができます。勉強でも、芸術やスポーツでも、ボランティア活動や家での手伝いでも、毎日の生活の中でのちょっとしたことでも、何に対してでもいいので、目標を持って取り組んで欲しいと思います。

もう一つ『**第一歩**』という詩を紹介します。明治時代の詩人で教育者でもある後藤静香（ごとうせいこう）が記したものです。横浜高校出身の元メジャーリーガー・松坂大輔投手が「『**目標がその日その日を支配する**』という一節を心に刻んで、日々の練習に取り組んできた」と話したことから、広く知られるようになりました。夢や目標を持つ人は、それを達成するために何をするのか、一日をどう過ごすのかを常に意識して過ごしています。目的を持っている人といない人では、一日いちにちの過ごし方が大きく変わってしまうのです。楽しく充実した中学校生活を送っていくために、目標を持ち、目標達成のために困難から逃げずに立ち向かっていける人になってほしいと願っていますが、そんな子どもたちが挫折や困難にぶつかったとき、周りにいる私たち大人の支えが、彼らの大きな道標となるはずです。子どもたちが多くの経験や試練を乗り越え、社会の一員として大きく成長していけるように、学校・家庭・地域が、それぞれの立場から、共に悩み共に考え、時には優しく時に厳しく子どもたちに接しながら、見守りいただきたいと思ひます。ご支援ご協力のほど、よろしくお願ひします。

